

穏やかに晴れています。

「新しい哲学を語る」の本で、稲盛氏の次の言葉が心に残っています。

「 たしかに、さまざまな哲学があつていいと思います。しかし、その哲学には、ただ一つ絶対に外してはいけないキーワードがあると私は考えています。それは、『世のため人のため』ということです。どんな高度な技術を持とうとも、『世のため人のために尽くす』ということだけは、人類共通の精神的基盤として、絶対に失ってはならないと思うのです。 」

公立学校の使命を果たすため、子どもたちの夢実現と校区の教育力向上を図るために、職責を全うして行きたいです。